

地球温暖化防止実行計画書 2013

策定年月日 平成 26 年 1 月

東亜電機工業株式会社

1. 事業内容（特徴）

日本・中国・ベトナムとグローバル展開を図っている当社は、ショベルカーやブルドーザなど、地球規模で活躍する建設機械の動力源となる、ハーネスやバッテリー等電装部品を生産・提供している会社です。

主要取引先の大手中建設機械メーカーとそのグループに深く関わるほか、電源・照明機器、太陽光・風力・水力発電システムの設計や、自社製品の開発にも注力しています。

2. 計画の目的

環境に配慮した事業活動を推進するための具体的手段及び推進体制を定め、それに基づき温室効果ガスを削減することにより、地球の温暖化対策を推進し、当社の「安全・品質・環境方針」を達成することを目的とします。

3. 計画の範囲

当社の本社事務所を対象とします。

4. 事務・事業から排出される温室効果ガスの主な原因

- ①購入電力の使用（室内外の照明、OA 機器使用に伴う消費）
- ②化石燃料の使用（冷暖房用灯油の消費、車両運行に伴うガソリン消費）

5. 基準年度（平成 24 年度）の CO2 排出状況

	使用量	CO2 排出量
電気	109,666 kWh	70,296 kg
灯油	15,539 ℓ	38,692 kg
CO2 排出量合計		108,988 kg

6. 温室効果ガスの削減目標（期間 平成 25 年度から平成 29 年度の 5 年間）

二酸化炭素排出量を 108,988 kg から 105,718 kg に 3%削減する。

（内訳）

電気使用量 70,296 kg → 68,187 kg （3%削減）

灯油使用量 38,692 kg → 37,531 kg （3%削減）

7. 温室効果ガス削減に向けての主な対策

①電気使用量の削減

- ・非使用時、不要場所の消灯
- ・クールビズ・ウォームビズの継続実施

②灯油使用量の削減

- ・冷暖房温度の適正化
- ・冷暖房使用時間管理

8. その他我が社の環境対策

①紙使用量の削減

- ・裏紙使用
- ・ペーパーレスの推進

②取り組み状況の確認

- ・内部監査の充実
- ・内部監査員の増員

9. 計画の推進体制

①推進体制

(ISO14001 に準ずる)



②社員研修

環境教育・訓練は期首に副管理責任者が活動計画書を作成し、これに基づいて計画的に実施しています。

教育内容は、内部監査員教育、ISO14001 規格教育、新入社員教育で実施されています。

以上